

&lt; 24-04 &gt;

2024年2月

先生各位

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、別掲の項目につきまして、2024年4月より検査内容の変更をさせていただくことになりましたのでご案内申し上げます。

何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

### ■検査変更内容:

別掲の一覧表をご参照ください。

### ■変更実施日:

2024年 4月 1日（月）受付分より

以上

※ 詳細につきましては、次ページ以降をご覧ください。

## ●検査内容変更項目一覧

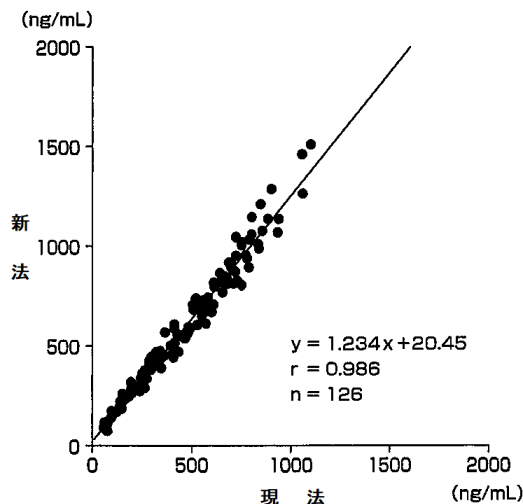
項目コード	項目名	変更内容	新	現	備考
1301	トリプシン	検査方法 検体量 基準値・単位 報告範囲	ラテックス凝集比濁法 血清 0.5 mL 210 ~ 570・ng/mL 30未満 ~ 最終値	E I A法 血清 0.4 mL 100 ~ 550・ng/mL 50未満 ~ 最終値	測定方法の変更
2923	ラモトリギン	所要日数	3 ~ 6日	3 ~ 5日	所要日数の変更
1580	エコー 5型 <<NT>>	最低希釈倍率	血清 4倍	血清 8倍	最終委託先変更に伴う 最低希釈倍率の変更
1591	エコー 19型 <<NT>>				
1592	エコー 21型 <<NT>>				
1594	エコー 24型 <<NT>>				
1951	TARC (Th2ケモカイン)	備考	トロンビン入りの採血管は測定値 に影響を与える可能性があるため 使用しないでください。	—	(新設)
	出血凝固検査	備考	遠心条件の変更		

## ●トリプシン

精度向上を目的とし、E I A法からラテックス凝集比濁法に変更いたします。  
 なお、この変更に伴い、検体量・基準値・報告範囲を変更させていただきます。

	新	現
検査方法	ラテックス凝集比濁法	E I A法
検体量	血清 0.5 mL	血清 0.4 mL
基準値・単位	210 ~ 570・ng/mL	100 ~ 550・ng/mL
報告範囲	30未満 ~ 最終値	50未満 ~ 最終値

《新法と現法の相関》



## ●エコーウイルス（４種）〈NT〉

現委託先の受託中止に伴い、委託先の変更をいたします。  
 なお、この変更に伴い最低希釈倍率の変更をいたします。

	変更内容	新	現
項目名	最終委託先	株式会社ビー・エム・エル	株式会社LSIメディエンス
エコー 5型 〈NT〉	最低希釈倍率	血清 4倍	血清 8倍
エコー 19型 〈NT〉			
エコー 21型 〈NT〉			
エコー 24型 〈NT〉			

## ●TARC（Th2ケモカイン）

採血管による測定値の影響を追記いたします。

変更内容	新	現
備考	トロンビン入りの採血管は測定値に影響を与える可能性があるため使用しないでください。	—

※ トロンビン入り採血管とは、急速凝固剤が添加された容器になります。  
 容器番号【01：汎用容器（分離剤入り）】および【03：汎用容器（分離剤なし）】は影響ございません。

## ●出血凝固検査

出血凝固検査の遠心分離条件を「日本検査血液学会標準化委員会凝固検査用サンプル取扱い標準化ワーキンググループ」の提唱する方法に準拠し変更いたします。

変更内容	新	現
遠心分離条件	3.2%クエン酸ナトリウム液0.2mL入り容器に血液1.8mLを正確に入れ、全量2.0mLにしてよく混和後、遠心機の温度設定を18℃～25℃とし、遠心力と遠心時間は1,500×gで15分以上または2,000×gで10分以上遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。	3.2%クエン酸ナトリウム液0.2mL入り容器に血液1.8mLを正確に入れ、全量2.0mLにして、良く混和して下さい。 混和後、3,000rpm 15分間遠心後、血漿を分離し、凍結してご提出下さい。